

幕府の政治と人々の暮らし① (教科書 142~152 ページ) **解答**

氏名 ()

1 なぜ幕府は大名に参勤交代を行わせたのでしょうか。教科書 142~143 アの絵を見て考えましょう。

(例) 参勤交代のための負担を大名におわせて、幕府と戦う余裕をなくすため。

2 江戸幕府はどのようにして全国の大名を支配したのでしょうか。

①江戸幕府は、大名をどのように配置しましたか。

**200 以上の大名を、親藩、譜代、外様に区別して、幕府にとって都合のよい地域に配置した。
外様の大名は、おもに江戸から遠い場所に配置された。**

②江戸幕府は、どのようなきまりを定め、大名たちに何を命じましたか。

きまりの名前	武家諸法度
命じた内容	<ul style="list-style-type: none"> ・城を修理する場合には、幕府に届け出るように命じた。 ・徳川家光は、大名が領地と江戸を行き来する参勤交代の制度を定め、妻や子どもを人質として江戸に住ませた。 <p style="text-align: right;">など</p>

3 江戸幕府は、人々をどのように治めたのでしょうか。

①武士はどのような身分とされましたか。

世の中を支配する身分とされ、名字を名乗り、刀を差すことなどを認められた。

②百姓や町人はどのような身分とされましたか。

武士の暮らしを支える身分とされた。

③幕府は、百姓にどのような責任を負わせましたか。

**村ごとに年貢を納めさせた。
五人組をつくり、共同で責任を負わせるようにした。**

④町人にはどのような義務がありましたか。

百姓のような重い年貢は納めず、町を整備するための仕事や費用を負担した。

⑤百姓や町人と区別され、差別された人々は、どのような暮らしをしていましたか。

住む場所や服装、他の身分の人との交際を制限された。しかし、年貢を納めたり、生活用具をつくったり、治安をになったりして、社会を支えた。

幕府の政治と人々の暮らし② (教科書 142~152 ページ) **解答**

氏名 ()

1 江戸時代には、外国との交流はどのように変化していったでしょうか。

①江戸時代の初めごろは、外国とどのように交流していましたか。

スペインやポルトガルの貿易船がさかんに日本をおとずれた。日本人の商人も東南アジアに移り住み、日本町ができた。国内では、宣教師たちの活動で、キリスト教信者が増えていった。

②幕府がキリスト教を禁止したのはなぜですか。

信者が団結して、幕府の命令を聞かなくなることをおそれたから。

③1637年、キリスト教信者たちは、重い年貢の取り立てと幕府の取りしまりに対してどのようなことを行ったでしょう。

島原や天草の約3万7000人の人々が一揆を起こし、天草四郎を中心に、幕府と戦った。

④幕府は、キリスト教信者たちの抵抗に対して、どのような行動をとりましたか。

大軍を送って一揆をおさめたあと、キリスト教の取りしまりをいっそう強めた。

⑤江戸幕府が行った「鎖国」とはどのようなものか説明しましょう。

幕府が貿易の相手を、中国オランダの商人に限り、貿易港を長崎だけにした状態を鎖国という。

2 鎖国のもとで、外国との交流はどのように行われたでしょうか。表に整理しましょう。

相手国	交流の窓口	交流の内容
オランダ 中国	ながさき 長崎	オランダとの貿易は出島で行われ、生糸や木綿、こしょう、薬、書物などを輸入し、銀や銅、焼き物などが輸出された。外国の情報や貿易の利益は幕府が独占するようになった。
朝鮮	つしま 対馬	対馬藩を窓口にして貿易が行われた。朝鮮通信使が日本をおとずれ、朝鮮や中国の文化が伝えられた。
琉球王国	さつ ま 薩摩	琉球を通して中国などの産物を手に入れた。薩摩藩の力がおよぶようになると、琉球では年貢を納める負担が生じ、中国や東南アジアなどとの貿易の利益の多くは薩摩藩が手に入れた。
アイヌ	まつまえ 松前	松前藩がアイヌの人たちと交易を行い、海産物や毛皮、織物などと、本州の産物を取引した。アイヌの人たちは、生活をおびやかされるようになり、戦いを起こしたが、敗れて、いっそう厳しく支配されるようになった。